



Kumamoto City
News Release



令和 7 年（2025 年）8 月 13 日

「戦後 80 年人権啓発講演会」を開催します。

戦後 80 年の節目の年である今年、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える人権啓発講演会を開催します。

第 1 部では、必由館高校生徒による平和に関する探究の発表、第 2 部では、ノンフィクション作家・梯久美子さん（熊本市生まれ）に「戦争とアンパンマン～やなせたかしからのメッセージ～」と題して講演頂きます。

- 1 日時 令和 7 年（2025 年）8 月 20 日（水）
13:30～15:00（13:00 開場）
- 2 場所 熊本城ホール 2 階（シビックホール）
- 3 主催 熊本市・熊本市人権啓発市民協議会
- 4 内容 別添チラシのとおり
- 5 取材に当たっての留意点
 - （1）取材者用の駐車場はありません。
 - （2）取材を予定されている場合は、8 月 18 日（月）までに下記担当までご連絡をお願いします。
 - （3）台風等により中止になる場合があります。その際は、熊本市ホームページにてお知らせします。

【お問い合わせ先】

文化市民局 人権推進部 人権政策課
電話：096-328-2333
課 長：伊藤 和貴（いとう かずたか）
担 当：小嶋 一平（こじま いっぺい）

戦後

80年

熊本市[戦後80年人権啓発講演会]

今年は戦後80年を迎える節目の年
戦争の悲惨さと平和の尊さについて
改めて考えてみませんか

8/20水

午後1時半～3時

熊本城ホール2階(シビックホール)

[定員]700人(抽選) | 参加費無料 |

※当選された方には、8月13日(水)までに参加券を郵送します。

■第1部：発表

必由館高校生徒による平和に関する探究の発表

■第2部：講演会

テーマ「戦争とアンパンマン

～やなせたかしからのメッセージ～」

21世紀になって四半世紀を過ぎようとしているいまも、日本に、世界に、おなかをすかせた子供たちがいます。そのみんなを助けたいという思いが、アンパンマンには込められています。自分の顔を食べさせるアンパンマンは、若い兵士として戦争を体験し、飢えに苦しんだやなせたかしの経験から生まれました。

人権をおびやかす、生命さえ奪うのが戦争です。

戦後80年の今年、アンパンマンを通して、平和の大切さを考えてみませんか。

ジョー・オダネル 写真展
[米従軍カメラマン]



「焼き場に立つ少年」など

8月20日(水)12:00～
8月22日(金)18:00まで
熊本城ホール
エントランスロビーで開催

見学自由[申込不要]

©「トランクの中の少年」(小学館)

講師：ノンフィクション作家

梯 久美子 さん

(かけはし くみこ)

【プロフィール】熊本市生まれ。2005年のデビュー作『散るぞ悲しき 硫黄島総指揮官・栗林忠道』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。著書に『昭和二十年夏、僕は兵士だった』、『昭和の遺書 55人の魂の記録』、『百年の手紙 日本人が遺したことは』、『狂うひと「死の棘」の妻・島尾ミホ』、『原民喜 死と愛と孤独の肖像』、『サガレン 樺太／サハリン 境界を旅する』、『この父ありて 娘たちの歳月』、『戦争ミュージアム－記憶の回路をつなぐ』、『やなせたかしの生涯 アンパンマンとほく』などがある。



申込方法

令和7年 8月4日(日) までに、お電話 ☎096-334-1500 または 申込はこちら ▶
ひごまるコールホームページ (<https://higomaru-call.jp/event/>) にてお申し込みください。

■主催／熊本市・熊本市人権啓発市民協議会 [お問い合わせ先] 熊本市人権政策課 ☎328-2333

